

【別紙1】参加者リスト

低炭素社会実行計画参加者リスト			
			全国ペット協会
企業名	事業所名	業種分類	CO2算定排出量※
アサヒペット株式会社		95	
株式会社AHB		95	
株式会社かねだい		95	
九州アメリカンフード株式会社		95	
株式会社KDC空港ドッグセンター		95	
株式会社コジマ		95	
ペットサロン チャーミー		95	
ペットショップパピーランド		95	
株式会社ベツランド		95	
株式会社マサヒロ		95	
有限会社丸和総合ペット		95	
有限会社ヨネヤマプランテーション		95	

○注意点

・計画参加企業名及び業種分類について記載。
 ※以下の事業者・事業所については、地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法、平成10年法律第117号)の規定により、行政に報告した「エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素」の算定排出量を記載。
 ①全ての事業所の原油換算エネルギー使用量合計が1,500kl/年以上となる事業者(省エネ法の特定事業者)
 ②原油換算エネルギー使用量が1,500kl/年以上となる事業所(省エネ法のエネルギー管理指定工場等)
 ※温対法の温室効果ガス排出量の算定・報告・公表制度において、非開示とされた事業所においてはCO2算定排出量の記載は不要。
 ※原油換算エネルギー使用量が1,500kl/年未満の事業所については、事業所名を含め記載不要。

○業界分類

- (1)パルプ (2)紙 (3)板紙 (4)石油化学製品
 (5)アンモニア及びアンモニア誘導品 (6)ソーダ工業品 (7)化学繊維
 (8)石油製品(グリースを除く) (9)セメント (10)板硝子 (11)石灰
 (12)ガラス製品 (13)鉄鋼 (14)銅 (15)鉛 (16)亜鉛
 (17)アルミニウム (18)アルミニウム二次地金 (19)土木建設機械
 (20)金属工作機械及び金属加工機械 (21)電子部品 (22)電子管・半導体素子・集積回路
 (23)電子計算機及び関連装置並びに電子応用装置 (24)自動車及び部品(二輪自動車を含む)
 (25)その他

前年度からの変更点				
項目	年度	変更前	変更後	理由
1. 目標指標	2013年度	電気由来のCO2排出量	電気由来のCO2排出量原単位	「CO2排出量」は、法規制等による事業環境の変化(床面積当たりの事業活動量、営業時間など)に影響を受けやすいので、より削減活動実態を反映しやすい「CO2排出量原単位」を目標値にもちいる。
2. 目標水準	2013年度	基準年(2006年度)比6%削減	基準年(2012年度)比±0%	ペット小売り業者は零細な事業所がほとんどであり、電力使用量の削減策に限りがある。また、自主行動計画の最終年である2012年には、取り得る削減策を実施済みである。低炭素社会実行計画の目標を、2012年比同水準以下のCO2排出量原単位とすることは、業界の最大限の努力
3. 前提条件				
4. 想定しているBAT				
5. データの取扱				
6. 業界間バウンダリー				

※上記6項目について変更が生じた場合は、変更年度と変更前後の情報、変更する理由を記載。2013年度のフォローアップにおいては、2012年度までの自主行動計画からの変更点、2014年度以降は前年度からの変更点があれば記載する。過去の変更情報も残しておくこと。また、行は必要に応じて追加すること。

生産活動量、エネルギー消費量、エネルギー原単位、CO2排出量、CO2排出原単位の実績と見直し

O実績		1990年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2020年度目標	2030年度目標	
生産活動量	指標	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	306.0	215.0	245.0	235.0	259.0	188.0	212.0	154.0	148.0	212.0	212.0	212.0	212.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	単位等	(万m ² ・万h)																											
エネルギー消費量	実績(万kWh)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3528	0.3227	0.3264	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	原単位	原油換算ベース																											
	電力換算ベース	電力換算ベース																											
	進捗率(目標比)																												
CO2排出量	実績(万t-CO2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	0.8	0.6	0.7	0.6	0.81000	0.75000	0.74000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	調整後排出係数	調整後排出係数																											
	固定ケース	固定ケース																											
	業界指定ケース	業界指定ケース																											
	進捗率(目標比)																												
	基準年度比																												
エネルギー原単位	実績(〇)											0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.0017	0.0021	0.0022	0.00	0.00	0.00	0.00		0.000	0.000	
	原単位	原油換算ベース																											
	電力換算ベース	電力換算ベース																											
	進捗率(目標比)																												
CO2原単位	実績(万t-CO2/万m ² ・万h)											0.002	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.004	0.005	0.005	0.000	0.000	0.000	0.000		0.003	0.003		
	調整後排出係数	調整後排出係数																											
	固定ケース	固定ケース																											
	業界指定ケース	業界指定ケース																											
	進捗率(目標比)																												
	基準年度比																												
カバ一率(企業数)		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	-	-	

O2020年度までの見直し

指標		1990年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2020年度目標	2030年度目標	
生産活動量	指標	(万m ² ・万h)																											
	想定値/実績値																												
エネルギー消費量	万kWh																												
	原単位	原油換算ベース																											
CO2排出量	万t-CO2																												
	想定値/実績値																												
エネルギー原単位	実績(〇)																												
	原単位	原油換算ベース																											
CO2原単位	想定値/実績値																												
	カバ一率(企業数)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	-	-	

【備考】
 ※進捗率：2020年度の目標水準（基準年度からの削減幅）を100%として、目標水準と実績との比率。（進捗率）＝（基準年度の実績水準－当年度の実績水準）／（基準年度の実績水準－2020年度の目標水準）×100（％）

※想定比：当年度について予め想定した水準（基準年度からの削減幅）を100%として、想定水準と実績との比率。（想定比）＝（基準年度の実績水準－当年度の実績水準）／（基準年度の実績水準－当年度の想定した水準）×100（％）

※カバ一率(企業数)：低炭素社会実行計画参加企業のうち、実績データに含まれる企業数（アンケート回答社数等）の団体加盟企業数に占める割合

生産活動量、エネルギー消費量、エネルギー原単位、CO2排出量、CO2排出原単位の実績と見直し

O実績		1990年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2020年度目標	2030年度目標
生産活動量	指標	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	306.0	215.0	245.0	235.0	259.0	188.0	212.0	154.0	148.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	単位等 採面積×営業時間 (万㎡・万h)																											
エネルギー消費量	実績(万k)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	BAU(万k)																											
	削減量(万k)																											
	進捗率(目標比)																											
	想定比																											
CO2排出量	実績(万t-CO2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	0.8	0.6	0.7	0.6	0.8	0.8	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	調整後排出係数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	0.7	0.5	0.6	0.6	0.7	0.8	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	固定ケース	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.8	0.9	0.7	0.8	0.6	0.7	0.6	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	業界指定ケース	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.6	0.7	0.6	0.6	0.5	0.6	0.5	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	BAU(万t-CO2)																											
	削減量(万t-CO2)																											
	進捗率(目標比)																											
エネルギー原単位	実績(〇〇)											0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	BAU(万k)																											
	削減量(万k)																											
	進捗率(目標比)																											
	想定比																											
CO2原単位	実績(〇〇)											0.002	0.003	0.003	0.002	0.002	0.003	0.003	0.004	0.005	0.005						0.000	0.000
	調整後排出係数																											
	固定ケース																											
	業界指定ケース																											
	BAU(万t-CO2)																											
	削減量(万t-CO2)																											
	進捗率(目標比)																											
カバー率(企業数)		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	-

O2020年度までの見直し

指標		1990年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2020年度目標	2030年度目標
生産活動量	実績																			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	想定比																											
エネルギー消費量	BAU(万k)																			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	削減量(万k)																				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
CO2排出量	BAU(万t-CO2)																			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	削減量(万t-CO2)																			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー原単位	BAU																			0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
	削減量																			0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
CO2原単位	BAU																			0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
	削減量																			0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
カバー率(企業数)																				0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	-

【備考】

※進捗率：2020年度の目標水準（基準年度からの削減幅）を100%として、目標水準と実績との比率。（進捗率）＝（基準年度の実績水準－当年度の実績水準）／（基準年度の実績水準－2020年度の目標水準）×100（%）

※想定比：当年度について予め想定した水準（基準年度からの削減幅）を100%として、想定水準と実績との比率。（想定比）＝（基準年度の実績水準－当年度の実績水準）／（基準年度の実績水準－当年度の想定した水準）×100（%）

※カバー率(企業数)：低炭素社会実行計画参加企業のうち、実績データに含まれる企業数（アンケート回答社数等）の団体加盟企業数に占める割合

【別紙6】対策リスト

実施した対策、投資額と削減効果										
	番号	対策名	対策内容	対策実施率	投資額		(年間)		(投資期間全体)	
					数量	単位	数量	単位	数量	単位
2013年度 まで	1	冷暖房の適正な温度設定								
	2	エアコンフィルターのこまめな清掃								
	3	遮熱フィルムの導入								
	4	照明本数の適正化や照明器具の変更								
2014年度	1	冷暖房の適正な温度設定								
	2	エアコンフィルターのこまめな清掃								
	3	遮熱フィルムの導入								
	4	照明本数の適正化や照明器具の変更								
	5									
2015年度	1									
	2									
	3									
	4									
	5									
2016年度	1									
	2									
	3									
	4									
	5									

- ※1 業界として特に重要だと考えている対策を毎年度3～5つ程度記載。
 ※2 対策実施率は、業界内での対策の実施状況(最新設備の導入率等)を記載。
 ※3 2014年度に実施予定の対策は必ず記入すること。

【別紙7】クレジット活用実績

クレジット等の活用実績									
○クレジット合計(参考)									単位:t-CO2
	2012年度まで	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
取得量(※)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
償却量	0	0	0	0	0	0	0	0	0
○京都メカニズムクレジット									単位:t-CO2
	2012年度まで	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
取得量(※)									
償却量									
○JCMクレジット									単位:t-CO2
	2012年度まで	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
取得量									
償却量									
○J-クレジット(国内クレジットも含む)									単位:t-CO2
	2012年度まで	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
取得量									
償却量									

※ 京都メカニズムクレジットにおいては、政府口座への償却前移転量とする。

【別紙8】業務部門の対策と削減効果

業務部門(本社等オフィス)の対策と削減効果							
	対策項目	削減効果					
		CO2削減量(t-CO2/年)			エネルギー削減量(MJ/年)		
		2014年度	2014年度までの累積	2015年度以降	2014年度	2014年度までの累積	2015年度以降
照明設備等	昼休み時などに消灯徹底化	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	退社時にはパソコンの電源OFFの徹底化	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	照明のインバーター化	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	高効率照明の導入	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	トイレ等の照明の人感センサー導入	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	照明の間引き	0.00	0.00	0.00	0	0	0
空調設備	冷房温度を28度設定にする	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	暖房温度を20度設定にする	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	冷暖房開始時の外気取り入れの停止	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	空調機の外気導入量の削減	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	氷蓄熱式空調システムの導入	0.00	0.00	0.00	0	0	0
エネルギー	業務用高効率給湯器の導入	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	太陽光発電設備の導入	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	風力発電設備の導入	0.00	0.00	0.00	0	0	0
建物関係	窓ガラスの遮熱フィルム	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	エレベータ使用台数の削減	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	自動販売機の夜間運転の停止	0.00	0.00	0.00	0	0	0